

公表

事業所における自己評価結果

児童発達支援

事業所名		こども発達未来スタジオIppo 三日月教室		公表日		令和 8 年 3 月 12 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	活動内容に応じて机やマットの配置を変更し、個別・小集団・集団活動それぞれに適した空間づくりを行っています。支援内容により場所を変えるように工夫しています。	活動スペースの使い方やグループ分けを工夫し、子どもたちが安全で落ち着いて過ごせる環境づくりに努めています。今後も利用状況に応じて環境設定の見直しを行っていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		安全面に配慮した職員配置を行っている。マンツーマンで対応が必要なお子さまには職員の配置を工夫しています。個別、小集団共に有資格者の職員の配置ができ支援が行		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	使いやすい分かりやすいように視覚支援を行っている転倒防止の為、フローリング使用時には靴下を脱ぎ、机角にはゴムを使用。危険な物は手の届かない場所に設置しています。	今後も使いやすいように環境整備を行っていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		清掃・消毒・換気を徹底し、児童が安心して心地よく過ごせる環境づくりを行っています。毎日清掃過ぎやすいように快適な配置をしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	個別支援が必要な児童が安心して過ごせるよう目的に応じて個別室を活用しています。個別の部屋はないかバーションを使い落ち着ける場所を確保しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	6		定期的な目標設定と振り返りを行い、職員全体で業務改善に取り組みする体制を整えています。	記録を取る時間、話し合う時間を分けて情報共有の場を設定するように努めます。引き続きPDCAサイクルを心掛け、現状把握と課題の共有に努めていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		その都度ミーティングを行っている保護者の意向は送迎時や支援会議、相談支援専門員との連携しています。またLINEを使用した相談窓口を設置。保護者の相談ができる体制を整えています。	日頃から要望を話しやすいように関係を築いていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		意見箱を設置しています。相談をする機会があります。意見を言いやすい環境であり、改善に努めています。ミーティングを行い、振り返りと目標を決めています。	引き続き、職員ミーティングでの意見交換を充実させ、業務改善に努めていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		第3者評価の実施については今後の検討課題としてまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		勤務シフトを調整し、業務と両立しながら研修を受講できるよう配慮しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムについてはホームページ上で公表しています。お子さまの状況に合わせてプログラム作成しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		見学、契約、モニタリング時にアセスメントを行っています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別支援会議や保護者とのモニタリングに参加しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		個別支援計画、専門支援計画共に共有し、個別支援会議を行い日々の支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	知識を持った職員同士で共有しています。日々の言動をよく観察することでアセスメントしています。	子どもの発達や適応行動の状況を把握するため、日々の行動観察を中心にアセスメントの方法を見直し、適切な評価と支援につなげていけるよう努めてまいります。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		児童発達支援ガイドラインに沿って作成しています。お子さんの発達状況を踏まえたうえで支援内容に組み込んでいます。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		ミーティングや日々の業務の中で職員同士が話し合いを行っています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		こどもの特性に応じて改善する点を話し合っています。スタッフ間で引きつぎ、記録に残し固定化しないようにスケジュールリングしています。目標の達成度によってアプローチや設定を変えています。毎日違うプログラムを行っています。	職員間でじっくり話し合う機会を設定できるように時間の調整をします。これからもお子さん一人ひとりの発達段階に応じたプログラムの作成に努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別と集団の活動を毎日取り入れている専門支援等必要に応じて個別活動にも取り組めるよう配慮しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼時にミーティングや個別の伝達を含め、必ず打合せを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		気づいた点を話し合う時間があります。連絡ファイルなどで振り返りの内容を共有し、次回以降の支援に活かせるように工夫を検討しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		連絡帳に記載しています。毎日記録を書き職員で共有し、支援の改善が必要がある場合はその都度ミーティングを行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6ヶ月に一度行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		開催される場合は、児発管を中心に状況に応じて担当者が出席をしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	保護者の意向を確認し、保育園、幼稚園等を訪問して情報共有を行っています。	関係機関との情報共有や連携の機会を大切にしながら、地域の保健・医療・福祉・保育・教育機関と連携した支援体制の充実に努めてまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		保護者のご要望や状況に応じて情報共有を図っています。保育園、幼稚園を訪問し様子を見せていただき情報共有し事業所での支援に反映するように努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	必要な時は行っています。	就学に向けて小学校や特別支援学校との情報共有の機会を大切に、支援内容の引き継ぎや相互理解が図れるよう連携の充実に努めてまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて助言や情報共有を行う機会を設けながら、支援の質の向上に努めてまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	外部(公園遊びなど)での交流を行っています。幼稚園、保育園、認定こども園に通っているお子さんが当事業所を利用されていることから、今は機会を設けていません。	今後、交流する機会を増やしていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時に伝えているその日の様子を送迎時や連絡帳の記載、電話連絡を行い発達状況や課題の共有を行っています。質問に答える時間を設けながら保護者の方と共通理解が図れるようにしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	ペアレント・トレーニングは行っていませんが、必要に応じて面談やアドバイスをしています。	保護者の方への情報提供や相談の機会を大切にしながら、家族支援につながる取り組みや研修等についても今後検討してまいります。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		利用者、保護者同伴のもと、見学・体験をして頂き、説明後、ご納得の上で契約を結んでいます。	今後も継続していきます。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		児童発達支援ガイドラインに基づき作成した「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		LINEを使用した相談窓口を設置しています。必要に応じ、管理者が面談を行っています。	今後も継続して個別相談に応じながら本人が安心して過ごせるよう支援を行っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		保護者会を定期的に開催し、保護者同士が自然に交流できる場を設けています。保護者懇親会や親子参加運動会などを開催しています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		保護者の意向は送迎時や支援会議、相談支援専門員との連携している。・お便りや面談等で相談に応じる旨をご案内しています。送迎時、電話連絡、ラインにて保護者から問い合わせを頂いています。苦情や苦情に発展しそうなケースは迅速かつ適切に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		活動の様子はHPやSNSにて公開をしています。毎月行事予定表や教室だよりの発行をしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付きロッカーに保管職員は雇用契約書に個人情報保護に係る内容を記載しています。また個人情報に関わる書類全てにおいて、鍵付き書庫に保管、シュレッター作業を行っています。	今後も注意していきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		お子さまには絵カードや視覚支援ツールを用いています。保護者へは送迎時や連絡帳、ライン、電話などで対応をしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	現在実施していません。	今後交流する機会を増やしていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員に周知しています。また、保護者向けに契約時にマニュアルを掲載したものを書面に配布しています。	今後も継続していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		全職員がガイドラインを確認しています。避難訓練を定期的に行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		利用開始前の聞き取り、面談、アセスメント時に確認し、全職員に情報共有を行っています。	今後も継続していきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		利用開始前の聞き取り、面談、アセスメント時に確認し、全職員に情報共有を行っています。	今後も継続していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画に基づき児童の安全確保の取り組みを行っています。定期的に点検・訓練を行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		契約時にお伝えしています。	今後も保護者の方へよりわかりやすい周知方法を検討していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットが発生した際は速やかに記録し、職員間で情報を共有する仕組みを整えています。	今後も継続していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止に関する責任者を設置。定期研修等も行っていきます。事業所内にモニターカメラを設置しています。	県指導の下、研修に参加しています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		現在、やむを得ず身体拘束をしている児童はいません。保護者には契約時に説明後、ご納得の上で契約を結んでいます。		